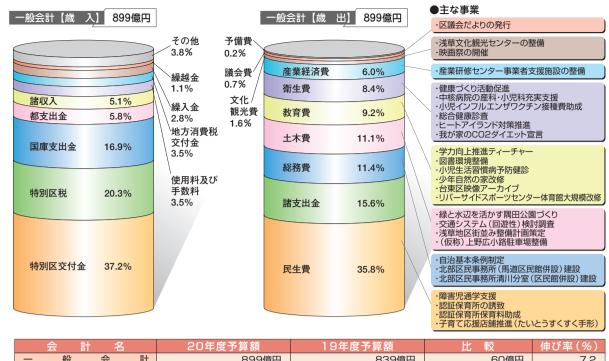
平成20年度各会計予算を可決 予算特別委員会



会 計 名	20年度予算額	19年度予算額	比較	伸び率(%)
一般 会計	899億円	839億円	60億円	7.2
国民健康保険事業会計	221億3,800万円	212億6,000万円	8億7,800万円	4.1
後期高齢者医療会計	34億9,500万円	_	34億9,500万円	皆増
老人保健医療会計	29億3,300万円	152億3,000万円	△122億9,700万円	△80.7
介 護 保 険 会 計	105億7,000万円	102億円	3億7,000万円	3.6
老人保健施設会計	25億26万7千円	7億8,819万2千円	17億1,207万5千円	217.2
病院 施設 会計	40億4,952万9千円	7億7,971万2千円	32億6,981万7千円	419.4
用 地 会 計	40億3千円	40億3千円	l	0.0
合 計	1,395億8,579万9千円	1,361億5,790万7千円	34億2,789万2千円	2.5
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		

2月8日開会の本会議で、平成20年度一般 会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医 療会計、老人保健医療会計、介護保険会計、 老人保健施設会計、病院施設会計、用地会計 の各予算案が区長から提出されました。

これを受けて、議会はただちに16名で構成 する予算特別委員会を設置し、延べ8日間に わたり審議しました。

3月5日には基本質問を、18日には総括質 問を行い、採決の結果、8会計予算とも原案 どおり可決すべきものと決定しました。

3月25日開会の本会議では、予算特別委員 会委員長から、委員会での審査の経過及び結 果の報告があり、反対者からの少数意見報告 の後、委員会の決定どおり可決されました。

予算特別委員会委員

◎田口 治喜 ○君塚 裕史 髙森喜美子 石塚 猛 小坂 義久 東久仁子 秋間 洋 和泉 浩司 太田 雅久 田中 伸宏 鈴木 昭司 小菅千保子 青柳 雅之 光男 伊藤萬太郎 杉山 藤平 一雄

(◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順)

予算特別委員会での主な質疑

予 算 全 般

- 問 20年度予算は、区民の期待を適切に反映した予算が 編成されたものと考えるが、「行政計画・予算編成プ レゼンテーション」を踏まえ、区長のどのような思 いが反映されているのか。
- 答 区民のニーズを、新たな行政計画や20年度予算に反 映させるため、全庁的な意識の共有化や連携強化を 図りながら、計画事業に優先的に財源配分を行った。

- 問 財源の確保について、区有地の有効活用は重要と考 える。貴重な財産である低未利用地の活用について、 売却を含め、今後、どのように取り組んでいくのか。
- 答 安定した財政基盤を築いていくため、低未利用地の 活用ガイドラインを次回の定例会で示し、今後とも 積極的に活用を進める。
- 問 本区の重要な自主財源である特別区たばこ税の重要 性を区民、喫煙者に理解してもらうため、たばこ税 を特定財源化し、用途の明確化を図ってはどうか。
- 答 使途を固定化させることは難しいと考えるが、重要 性を広くPRするための貴重な提案と受け止めたい。
- 問 他の自治体で取り組んでいる寄付条例やふるさと納 税、ネーミングライツ等、様々な施策を検討し、新 たな自主財源の確保に努めるべきではないか。
- 答 収入確保対策検討委員会の最終報告を踏まえ、自主 財源充実のため、これまでの取組みをさらに拡大し ていくとともに、新たな収入確保の取組みを検討し ていく。
- 問 区の広告事業は、担当課が自ら広告主を募るだけで なく、民間の力を活用する視点に立ち、様々な方法 で柔軟に取り組んではどうか。
- 答 他自治体の手法等も参考にしながら、民間活力の導 入等に努めていく。

歳 出

- 問 地域防災計画の改定により耐震診断や耐震補強を行 うこととされ、無料の簡易耐震診断等の事業が予定 されているが、来年度予算に反映されていない。早 急に着手すべきではないか。
- 答 今年度策定した「台東区耐震改修促進計画」の中で 示されている耐震診断や耐震補強、耐震シェルター などの支援策を今後早急に事業化し、耐震促進を図
- 問 障害のある児童は、5年生以上になると、放課後の 居場所の確保が難しい。児童館などにおいて必要な 支援体制を整備すべきと考えるがどうか。
- 答 現在は、児童館を遊びの場として利用しているが、 放課後対策については、区の障害者施策全体の中で

検討していく。

- 問 現在のごみ収集方法は区民の中に不公平感が広がっ ており、現行の制度の見直しを図り、ごみ収集方法 を再編成するべきと考えるがどうか。
- 答 廃棄物の分別方法や特別地域を含む収集方法の変更 については、平成21年度に向けて見直しを図ってい く。
- 問 保育園や小学校でアレルギー除去食の提供数が増え ているが、庁内でデータが共有されておらず、除去 食提供のマニュアルも明確でない。関係者の定期的 な協議を行うべきではないか。
- 答 区立保育園、小・中学校における情報の共有化は必 要なことと認識しており、早急に庁内連絡会を開催 し、対応していく。
- 問 「下町コメディ映画祭 in 台東」への思いと地元との 協働の計画はどうか。また、同時期に開催される浅 草奥山風景との連携をどのように考えているのか。
- 答 区民ボランティアや、地元関連団体等と連携し、下 町の活気あふれる映画祭にしていく。浅草奥山風景 とも、十分に連携を図り、両行事の盛り上がりや誘 客による相乗効果を高めていく。
- **問** ジュエリーブリッジの展示スペースの有効活用につ いて、東京芸術大学の学生たちの作品発表の場とす るなど、多様な方法を考えてはどうか。
- 答 台東区の特色をより一層知っていただけるよう、文 化やアートの分野を含め、展示内容を検討していく。
- 問 浅草北部は、防災、交通、環境整備など様々な課題 が山積しているが、地域住民と協働して、より一層 まちづくりに努力すべきと考えるがどうか。
- 答 清川二丁目福祉施設、北部区民事務所清川分室の整 備を進め、さらに、旧北部小包集中局跡地を取得し、 北部地域発展のために活用する。今後も、新タワー 建設を踏まえたまちづくりに努めていく。
- 問 土曜スクールの実施など様々な学力向上施策を進め てきたが、全国学力・学習状況調査の結果は必ずし も満足できるものではない。20年度予算における思 いはどうか。
- 答 読書環境の整備、学力向上推進ティーチャーの充実 など様々な施策に取り組んでいく。土曜授業につい ても、全中学校において第一歩を踏み出し、台東ス タンダードも策定していきたい。
- 問 学校が教育予算を計画的に、より有効に活用できる よう、どのように支援していくのか。また、学校の 意欲を引き出すような予算の配分も必要と考えるが、 どのような工夫をするのか。
- 答 各学校が主体性をもって、意図的・計画的に取り組 みを推進し、より特色を発揮できるよう、また学校 の意欲向上につながるよう努めていく。
- 問後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を別建て とするもので、皆保険制度の破壊である。制度を容 認するという認識を変えるべきではないか。

- 答 高齢者の適切な医療の確保を図るため、相互扶助に 基づく国民皆保険制度の維持と、医療費の適正化を 推進することを目的として導入するものと認識して
- 問 新台東病院について、在宅生活支援のためには、地 域の医療・看護・福祉の連携とデータの共有化が必 要不可欠である。今後、連携としてどのような取り 組みをするのか。
- 答 区、地域包括支援センター、老人保健施設千束にお いて、基本的な情報の共有化、事務の効率化を図っ ている。さらなる情報の共有化については課題もあ るので、今後とも検討していく。

区議会からのお知らせ

CATV議会放送について

第2回定例会(6月3日~6月25日開会予定)にお ける区長所信表明・各会派の一般質問を下町YOU-I チャンネル (5 c h) で録画放送いたします。 放送予定は次のとおりです。ぜひご覧ください。

○区長所信表明・一般質問 6月21日(土)午後1時~5時 【再放送は6月22日(日)の同時間】

|第160号(7月20日発行)の1面の写真を募集しています|

容:台東区内の風景

(台東区の夏の風景、お祭り、季節の花など) 応募資格:区内在住、在勤、在学にかかわらず、ど

なたでも応募できます。 真:現像した写真(2 L 判)。明らかに人物を 特定できる場合は本人の了承を得てくだ

応募方法:住所、氏名、連絡先、撮影場所を明記し

たメモなどを同封し、議会事務局宛に郵 送または持参してください。

掲載事項:撮影者の氏名 切:6月30日(月)必着

*なお、応募いただいた写真は、返却いたしません ので、ご了承ください。

議員研修会を開催しました

平成20年3月25日、台東区議会会議室において、議 員研修会を実施しました。

講師として、台東デザイナーズビレッジ村長の鈴木 淳氏をお招きし、「台東区の創業支援について」と題し て、講演をしていただきました。

当日は、議長以下区議会議員が受講し、熱心に耳を 傾けました。